

(3) 平成30年度のまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

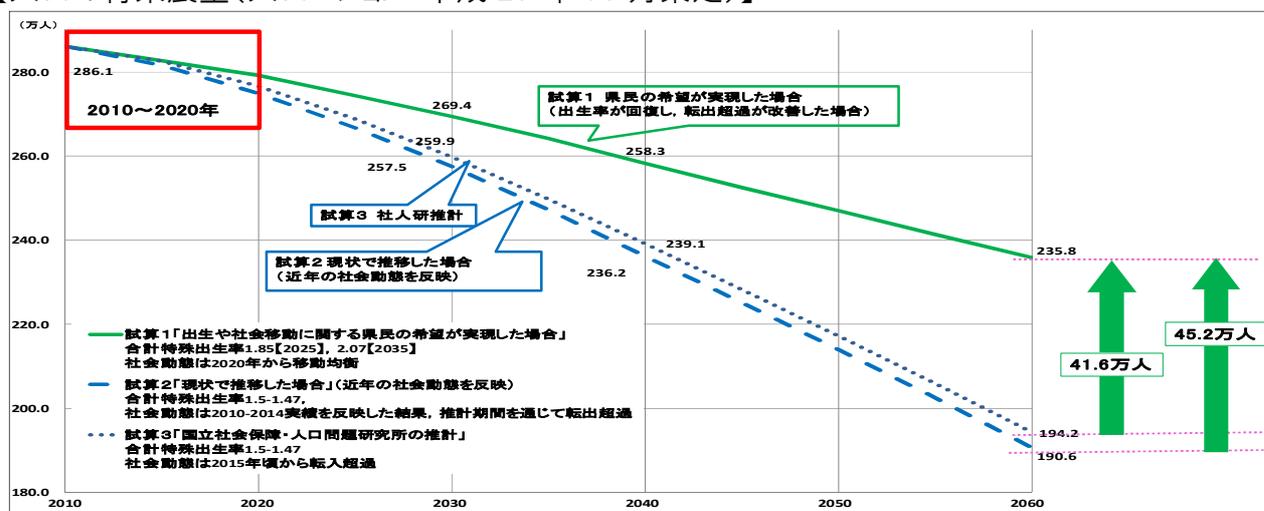
「広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少問題を克服し、地方創生を成し遂げるため、「ひろしま未来チャレンジビジョン」に掲げる取組のうち、まち・ひと・しごと創生に係る施策をまとめ、平成27年度から令和元年度までの5年間の目標等を定めた実施計画として策定した。

県人口の将来展望

平成27年の「ひろしま未来チャレンジビジョン」の改訂にあわせ、人口の将来展望を策定し、今後、社会動態が均衡するなどの改善が図られたとしても、親となる世代が減少していくことから、今後数十年間の人口減少は既に避けられない状況となることを示した。

このため、「新たな経済成長」「人づくり」「安心な暮らしづくり」「豊かな地域づくり」の4つの政策分野を相互に関連させて展開し、相乗効果をもたらしながら好循環する流れを創り出すことで、人口減少に対応できる効率的な社会システムづくりに取り組んできた。

【人口の将来展望(人口ビジョン:平成27年10月策定)】



県人口の現状(2010～2020年)

平成30(2018)年の現状値(県人口移動統計調査)は、約282万人(2,819,962人)となっており、人口ビジョンにおける「試算1 県民の希望が実現した場合(280.6万人)」を上回っている。

(単位:万人)

区分	H22年 (2010)	H27年 (2015)	H28年 (2016)	H29年 (2017)	H30年 (2018)	R元年 (2019)	R2年 (2020)
試算1 県民希望①	286.1	282.8	-	-	280.6	-	279.2
現状値 ②		284.4	283.8	283.0	282.0	-	-
差引(②-①)	-	+1.6	+1.7	+1.7	+1.4	-	-

※県民希望は5年バンドで推計しているため、2016年～2019年の各年は5年間の人口減少(▲3.6万人)を按分して記載

しかしながら、社会動態(日本人のみ)については、若年層を中心とした東京圏への転出が依然として続いており、また、自然動態における合計特殊出生率は、全国平均を上回って推移しているものの、県民希望の1.60を下回る状況となっている。

また、現状値と2021年以降における県民の希望(試算条件)には乖離があり、2060年の235.8万人に向けては、さらなる取組が必要である。

区分	現状値 2011(H23)～2018(H30)年平均	県民の希望:試算条件	
		2011～2020年	2021年以降
社会動態	+798人[日本人:▲599人] [外国人:+1,397人]	2020年～転出入均衡	
自然動態	▲5,897人	▲5,694人(年平均)	▲10,850人(年平均)
合計特殊出生率	1.55(H30年) [全国:1.42(H30年)]	1.60(年平均)	1.85(2025～) 2.07(2035～)

○ 「しごとの創生」

「しごと」と「ひと」の好循環を確立するためには、まずは、地方における「しごと」の創生に取り組む必要がある。

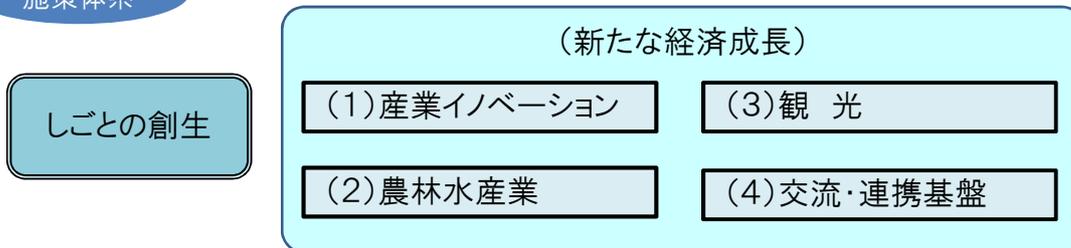
今後の生産年齢人口の減少や国内マーケットの縮小等に対応していくため、イノベーションによって、新たな価値を創造し、企業の付加価値・競争力を向上させる取組等を行うことで、新しい産業が次々と生まれ育ち、安定した雇用が創出される環境づくりを進めている。

また、地域への経済波及効果の大きい観光については、瀬戸内海・中国山地の豊かな自然や、特色ある歴史・文化・食など、多彩な地域資源の価値向上の取組を推進している。

将来像

新たな挑戦を行う企業や人が活発に活動し、イノベーションを通じて新しい経済成長のステージが生まれることで、魅力のある雇用・労働環境が創出され、県民が将来に向けて大きな希望が持てる強固な経済基盤が整っている。

施策体系



基本目標

➤ イノベーションを通じて魅力ある雇用を創出する

成果指標・目標	達成年次	全体目標	平成 29 年度		平成 30 年度		
			までの実績	年度	目標	実績	進捗状況
就業率	R元	56.8%	57.9%	29	56.7%	58.4%	達成
「就職」を理由とした転出超過数	R元	転入超過	1,435 人 (転出超過)	29	1,076 人 (転出超過)	1,500 人 (転出超過)	未達成

進捗状況

全KPI数 (A)	達成指標数※ (B)	未達成指標数 (C)	実績未確定指標数 (D)	達成率 (B/(B+C))
55	23	27	5	46.0%

○ 「ひとの創生」

地方への新しい「ひと」の流れをつくるため、「しごと」の創生を図りつつ、若者の地方での就労を促すとともに、地域内外の人材を積極的に確保・育成し、地方への移住・定着を促進するための仕組みの整備を進めている。

また、若い世代が結婚や子育てに夢を持ち、出産や家族形成に対する各々の希望を実現し、仕事と生活を両立できる環境整備を推進している。

将来像

これからの本県を内外から支える人材の育成，人をひきつける広島らしいライフスタイルの実現など，全ての県民が輝く環境の整備により，人が集まり，育ち，生き生きと活躍している。

施策体系

ひとの創生

(人づくり)

(1) 少子化対策

(4) 人の集まりと定着

(2) 女性の活躍

(5) 教育

(3) 働き方改革

(6) 多様な主体の社会参画

基本目標

- 広島で「学ぶこと，働くこと，暮らすこと」の魅力を高め，広島への新しいひとの流れをつくる

成果指標・目標	達成年次	全体目標	平成 29 年度		平成 30 年度		
			までの実績	年度	目標	実績	進捗状況
転入超過数	R元	転入超過	192人(転出超過) 日本人 転出超過数 2,906人 外国人 転入超過数 2,714人	29	転入超過	450人(転出超過) 日本人 転出超過数 3,220人 外国人 転入超過数 2,770人	未達成

- 「ファミリー・フレンドリーな広島県」を実現し，少子化に歯止めをかける

成果指標・目標	達成年次	全体目標	平成 29 年度		平成 30 年度		
			までの実績	年度	目標	実績	進捗状況
若い世代(25～39歳)の有配偶者率	R2	女性 63.2% 男性 53.5%	女性 59.0% 男性 49.8%	27	—	【次回調査R2】	—
子育てに楽しみや喜び・生きがいを感じる人の割合	R元	88%	71.9%	29	86%	75.5%	未達成
いつでも安心して子供を預けて働くことが出来る環境が整っていると思う人の割合	R元	70%	(保育) 57.6% (学童保育) 55.1%	29	68%	(保育) 57.0% (学童保育) 56.3%	未達成

進捗状況

全KPI数 (A)	達成指標数※ (B)	未達成指標数 (C)	実績未確定指標数 (D)	達成率 (B/(B+C))
48	16	23	9	41.0%

○ 「まちの創生」

「しごと」と「ひと」の好循環を支えるためには、人々が地方でのライフスタイルの素晴らしさを実感でき、安心して暮らせるような、「まち」づくりを進め、広島県が内外から魅力ある地域として選ばれ、県経済の活性化にもつながる好循環を生み出す環境整備を推進している。

将来像

(豊かな地域づくり)

地域の人々が、地域特性や固有の資源を「力と宝」と実感し、磨き、発揮するとともに、多様性のある地域が連携することにより新たな活力を生み出し、県民一人ひとりが地域に愛着と誇りを持ち、国内外から魅力ある地域として選ばれる、住みやすく個性ある豊かな地域になる。

(安心な暮らしづくり)

医療・介護、福祉や、いつどこで起きるか分からない自然災害など、県民生活に直結した課題について、企業、団体、県民などの様々な主体と連携して、社会全体でその課題解決に取り組み、全ての県民が安心して生活し、幸せを実感できる環境が整っている。

施策体系

まちの創生

(豊かな地域づくり)

- (1) 魅力ある地域環境
- (2) 瀬戸内
- (3) 中山間地域
- (4) 平和貢献

(安心な暮らしづくり)

- (5) 医療・介護
- (6) 健康

基本目標

▶ 都市と自然の近接ライフの魅力や地域特性、資源を生かして活力を創出する

成果指標・目標	達成年次	全体目標	平成 29 年度		平成 30 年度		
			までの実績	年度	目標	実績	進捗状況
(株)ブランド総合研究所「都道府県魅力度ランキング」	R元	8位以内	16位	29	10位以内	17位	未達成
瀬戸内7県の外国人延泊者数	R元	508万人泊	350万人泊	29	430万人泊	398万人泊	未達成
広島県の外国人延泊者数	R元	160万人泊	93万人泊	29	125万人泊	124万人泊	概ね達成
地域づくり活動をリードする人材の育成	R元	325人	260人	29	290人	294人	達成
平和に関する人材、知識・情報、資金などを集積して、継続的な平和活動を可能とする仕組みの事業推進主体としてのセンター機能の具体化に向けた戦略の構築	R元	センター機能の具体化に向けた戦略の構築	センター機能の方向性の具体化のための手法の整理	29	センター機能の方向性の具体化	センター機能の方向性の具体化	達成

▶ 安心して暮らすことができる生活基盤を確保する

成果指標・目標	達成年次	全体目標	平成 29 年度		平成 30 年度		
			までの実績	年度	目標	実績	進捗状況
地域包括ケアシステム構築日常生活圏域数(全 125 圏域において評価指標による評価が基準を満たす圏域)	R元	125 圏域	125 圏域	29	125 圏域	【R元.10 判明】	—
がん検診受診率(胃, 肺, 大腸, 子宮, 乳)	R元	全て 45% 以上	胃:40.5% 肺:42.1% 大腸:38.8% 子宮:40.2% 乳:40.3%	28	—	【次回調査R元】	—

進捗状況

全KPI数 (A)	達成指標数※ (B)	未達成指標数 (C)	実績未確定指標数 (D)	達成率 (B/(B+C))
50	22	16	12	57.9%